

●2020年度

テーマ 「共存～2030年の未来に伝えたいもの」

予定していた理解講座や講演会ができずにいますが、今年度は「気候変動」と「住環境の問題」から地球が抱える様々な問題について考えていく予定です。

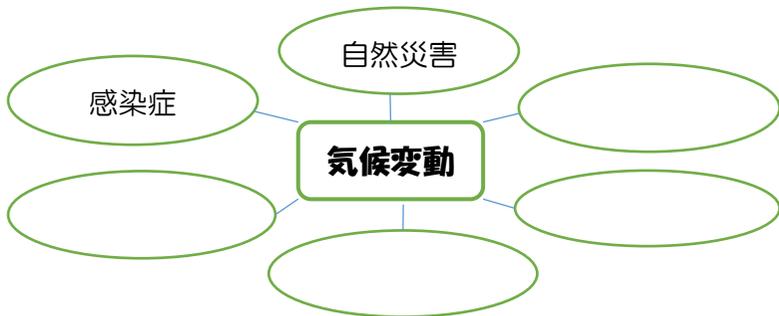
①地球温暖化最前線国「キリバス共和国」



前号で「キリバス共和国」について少し触れましたが、本来であれば5月29日の国際理解講座で、日本キリバス協会のケンタロ・オノ氏にお越しいただき、お話を伺う予定でした。地球温暖化の影響を最も受けている国について知ること、私たちの周りで起きている異常気象や自然災害について考え、未来の日本の姿を見つめてみましょう。



関連する語句を入れて、フローチャートを完成させてみよう！



②住環境問題についての講演会

11月6日(金)「国際理解・交流発表会」講演会(予定)

「SDGs ゴール 11 住環境問題～誰もが安心して暮らせる住まいを～(仮)」

講師 NPO 法人 ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン

★ハビタットさんの活動内容

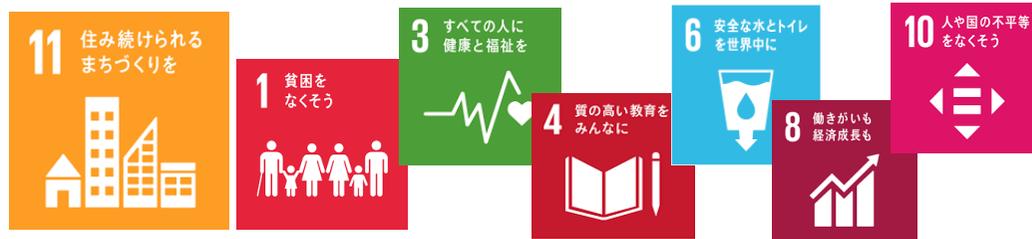
世界人口の8人に1人が不適切な住環境もしくは家のない状態にあると言われています。ハビタット・ジャパンさんは、少額融資のサポート・家を持てる環境を築くサポート・建築の際の技術的なサポートなどとおして、「誰もがきちんとした場所」を持てる支援を行っています。

★問題になっていること

2050年には世界総人口の66%が都市部で暮らすことになると推測されています。急激な都市化の90%はアジアやアフリカ圏で起きると言われています。都市化や雇用機会の増加、教育水準の向上などのメリットがある一方で、急激な人口流入は、インフラの整備が追いつかず、不適切な住環境での暮らしをもたらす、所得格差の拡大や環境汚染などを招きます。

★健康的な家を持つということとは？

家族を感染症や病から守ることができ、プライバシーの保護や子育てなど健全な生活を営むための生活の基盤を確保することであり、すべての人々に与えられる基本的な人権です。住環境問題は、貧困・教育・健康・水・衛生・経済・不平等・差別など、あらゆる問題を含んでいます。



7月にエッセイコンテストがあります。

これまでの活動を振り返り、今から何をテーマに書くのかを考えておきましょう。自分が描く未来を書いてください。原稿用紙4枚程度です。

6月はSDGs関連の本を読みましょう。

図書館へGO!



どんな本を選んでよいのか迷ったら、クラスに掲示してあるリストを参考にしてください。ゴールごとに分類されています。受験の小論文対策にも活用してください。



クリマ・チェンジ・イニシアチブ・高潮・季節の変化・健康被害・熱中症・作物の品質低下・森林火災・森林火災・生態系の変動・温室効果ガス・水質汚染・過水・砂漠化・食糧難

【フローチャートに入る語句(例)】